



北山小学校コミュニティ・スクールだより

# 「北山」に生きる

令和7年12月5日(金)

No.3

校長 宮坂 哲生

11月19・20日に、6年生の子どもたちは修学旅行に行ってきました。楽しむときとけじめをつけるときのはりがついていて、安心して連れて行くことができました。出発の会では、6年生の子どもたちに「東京と北山の違いを見つけてきてください。どちらが良いかではなく、東京と北山それぞれの良さを感じてきてください」と話しました。帰りの会で、それぞれの良さが見つかったかを聞くと、当然のように見つけたと言ってくれました。旅行中は、東京の空気は違うという声を聞きました。帰ってきてバスを降りたときに、体が自分たちの故郷を感じたのではないかと思います。



## 第3回学校運営協議会(11/28開催)協議内容

### 【授業参観をされて気がついたこと等】

- ・北山地区でインフルエンザが流行していなければ、先生方も授業をするときにマスクを外してもよいのではないか。
- ・廊下の痛みがはげしい。床の張替え等、市へ要望を出して、修繕をしてもらいたい。
- ・1,2年生ではあまり感じないが、3年生になると自主性が顕著に現れ、個人差を感じた。6年生のはんだ付けは自分で何をつくっているのかを分かっていたか？
- ・1～3年は道徳で、相手の気持ちを考える授業を展開し、「自分で考えて答えを出す」という姿勢を大切にしていた。4～6年は自分の実生活や実践を踏まえた授業を行っていた。学習方法が「先生対子ども」でなく、ワークグループ的な活動であった。
- ・一人ひとりそれぞれが考える授業が増えている。自主性を重んじたり、相手の気持ちを考えたりする授業展開がよい。
- ・展示してあるものがすばらしい。
- ・6年の授業は諏訪東京理科大の方が関わっていたが、いろいろな分野でそれぞれの専門家が関わる授業を展開したい。
- ・校長先生が冒頭に触れた、修学旅行で見てきた都会と、北山との違い「気候もいい、自然もあふれている、空気がちがう」を今から存分に感じてほしい。
- ・保護者の中には地域の活性化に取り組んでいる方もいる。授業での関わりも考えられる。
- ・教室に入ると親が自分の子どものところについてしまう姿がみられるが、それが本当にいいのかどうか。→学校としては、ぜひ保護者に多く関わってほしい旨を伝える。



### 【年度まとめに向けた学校運営について】

- ・学習支援ボランティアについては、農業についてはこの方、観光についてはこの方、と具体的に頼る人を決めていくとよい。
  - ・PTA連合会の会合で、飯田市での具体的な成功事例が紹介されていた。地域が実行委員会を立ち上げ、それぞれの活動に児童生徒の参加を呼び掛けている。参考にするのはどうか。
  - ・住民がボランティアに参加できないのは「何月何日、何時に〇〇の授業がある」と具体的にわからないから。具体的にわかるようにするとよい。
  - ・八十二銀行が行っている地域文化継承の補助金制度を利用してはどうか。
  - ・北山小美術館は地域の方にどう来てもらうかもあるが、どう作品を集めるかもある。「美術」という言葉にひっかかりがあり、個人で作品を出すのは難しい。美術品以外の出展や展示も考えてはどうか。
  - ・コンセプトを明確にしていくとよい。地域の方の作品に子どもたちの作品もプラスして北山小美術館とする、など。
  - ・移住者の方で、地域に知られていないが芸術に関わっている人は多い。学校とつなげられるとよい。
  - ・北山祭を保護者だけでなく、地域の方との関わりに広げていくとよい。
  - ・子どもたちのICT端末の活用について、家庭でも活用できる環境が整っているのか。
- 北山小では家庭で端末が使えない児童はいない。
- ・来年度の運動会、音楽会について、運動会は春開催、音楽会は秋開催とする学校の提案でよい。

# 職員の思い

前述の学校運営協議会の開催にあたり、学校職員が「北山という地域をどう思うか」「地域の方に力を借りたいと思うこと」を知りたいというご要望をいただいていた。それに応え、学校職員にアンケートを取った結果が以下になります。

## (1)「北山」という地域をどう思うか

- ・豊かな美しい自然の中で、子どもたちがのびのびと育っている。
- ・自然豊かな土地で、のびのびと過ごすことができ、地域の皆さんとの距離が近く暖かい印象です。
- ・地域みんなで子どもたちを育てている(育ててくれている)雰囲気がある。
- ・昔からの文化とリゾート(新しい)の文化の両方があり、のんびりと過ごしている地域。保護者も地域の人もそういうのんびりと過ごしたいと思っているのではないかと思います。だから、先進的なものではなく、自然や文化を大切にしたい教育が良いかなあとと思います。
- ・地域の方が学校に協力的である。
- ・豊かな自然があって、心が浄化されるような場所。
- ・自然が豊か。のんびりと穏やかに過ごせる。
- ・広い地域がある土地で、それぞれの地区に見所や特産品などがあり、子どもたちも学びに使える題材が多くある印象。
- ・人の手が入った林と深い森が両方あり、子どもと活動できる自然が残る所。
- ・思いを持った方がいらっしゃり、様々な道のプロが力を貸してくださる地域。
- ・産業・観光どちらからでも総合的な学びにアプローチができる。(米作り、花作り、野菜作り)など。
- ・自然が豊かで土地の歴史がある地域だと感じています。
- ・自然が豊かで学校に協力的。
- ・自然が豊か、おいしい野菜作りができる風土が大好きです。



## (2)地域の方に力を借りたいと思うこと

- ・北山という地域についての学習(自然、観光、歴史等)の時に協力していただきたい。
- ・北山の自然、観光、産業に関わる学習で講師に来ていただいたり、助言、サポートしていただいたりするとありがたいです。
- ・生活科や総合の授業に力を借りたいです。
- ・交通安全教室、人権週間での読み聞かせなど。
- ・学校の環境整備。
- ・広い畑をお借りできてありがたい。うね作りマルチしきを毎年やっていただき大変ありがたいので、今後もぜひお願いしたい。
- ・取り組んでいる(取り組んできた)ことや、その思いを語っていただく→キャリア、教育、ふるさと学習等
- ・共同料理を作る実習の講師として。→家庭科、生活、総合
- ・地域に伝わるお話や昔の北山について語っていただく→読み聞かせのように国語、社会、生活等・米作り、野菜作りなどで支援をいただきたい。
- ・スキー等ウインタースポーツで協力いただきたい。
- ・地域のことを教えてくださいとありがたいです(自然など)。



大変に協力的で、過ごしやすい環境の中で勤務させていただいていること、地域の皆様に様々な面でお支えいただいていることに感謝しております。(2)の項目につきまして、取り組めそうなことを模索し、地域の皆様に協力を仰いでいきたいと思ひます。

# 高校生ってすごい!

本日(12/5)まで、茅野高校の生徒の皆さんの作品を「北山小美術館」に展示しました。休み時間や図工の授業の中で、子どもたちは作品鑑賞を行いました。

## 《子どもの声》

すごくキレイで、よくこんな作れるかと、感心しました。すごくあこがれて、どれも好きです。

木彫はがき箱がきれいに削ってあってすごい。



立体的な作品やきれいな色のステンドグラス。どれも個性的ですてきです。

砂絵がかわいかった。

全部色とりどりできれいでした。